



からくり人形師

はんや こうぞう
半屋 弘蔵 さん

江戸時代の座敷からくり人形の復元・制作を行い、これまでに実演や工作教室で全国300カ所以上を飛び回り活躍する半屋弘蔵さん。新潟県に生まれ、自動車メーカーに就職し、転勤を機に栃木市に移住。持ち前の技術力を活かし、全国に数名しかいない『からくり人形師』の道を行く半生を伺いました。



人形の制作には材木商の美家で学んだ道具の使い方が活かされています

江戸時代の技術に魅せられて
半屋さんが21歳の時、就職した大手自動車工場が、大平町に新工場を建設するときの創設メンバーに選ばれたのをきっかけに、栃木市に移住してきました。新工場で、設備修理や業務改善に携わっていたことから、工場長から「江戸時代のからくりを研究して、設備のコストダウンをしてくれ」と言われたのが運命の始まり。後の師匠となる人形師・半屋春光氏と出会い、からくりの仕掛けの勉強や手伝いをしていくうちに、江戸時代に生まれたからくり人形には、当時の先端技術や遊び心が詰め込まれており、現在のロボットの原点とも言えると感動。その魅力にすっかりはまってしまったそうです。師匠に弟子入りし学びを深める中で、「残された人生をからくり人形に賭けてみたい」と、48歳で会社を早期退職。「えいやつ」とばかりに、からくり人形の道に飛び込みました。

夢を追う難しさ、でも…
「今思えば、夢を追いかける私に付き合われ、妻は大変だったと思います。収入はもちろん厳しくなりましたが、不安もあつたかと思えます。私のわがままを許し、今でも支えてくれている妻には、とても感謝しています。」
実はからくり人形を生業としている人は、日本で数人しかいません。「活動を始めた頃は、手探りの日々。でもたくさんの人に出会い、交流し、支えていただけてきました。栃木市がからくり人形職人としての私を育ててくれたといっても過言ではありません。最近では市内の様々な場所からからくり人形を披露する機会が増えてきました。小江戸と称される栃木市で、江戸時代に生まれたからくり人形を見ているとまるでタイムスリップしたようだと感じます。愛すべき栃木市と大好きなからくり人形が掛け算となっていることが、私は嬉しくなりません。」

からくり人形師の活動はこれからも!
半屋さんは令和4年11月まで、栃木市ふるさと大使として活躍し、観光に貢献していただきました。「今年で70歳、体調面に不安があり、途中で迷惑をかけたくなかったので、昨年の秋まつりで大使を卒業させていただきました。しかし、これからも活動できる限り、栃木市とからくり人形の魅力を多くの人に伝えていきたいと思えます。ぜひ実演を見にお越しください。」半屋さんの実演スケジュール等に関するお問い合わせは栃木市観光協会 ☎(25)2356まで

1月から「栃木市出産・子育て応援ギフト事業」を開始しています



安心して出産・子育てができるように、相談に応じ、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と「ギフト提供（経済的支援）」を一体に実施します。

伴走型相談支援

保健師や助産師等が、妊娠届出時や妊娠8か月前後（希望者）、乳児家庭全戸訪問時（生後2か月頃）に面談を実施し、妊産婦の方の個々の状況に合った支援を行います。



ギフト提供（経済的支援）

令和4年4月以降に妊娠届出をした妊婦の方、並びに出生した子どもを養育する方を対象に支給します。

出産応援ギフト：妊娠届出時に面談実施後、妊婦1人当たり5万円を支給

子育て応援ギフト：乳児家庭全戸訪問で面談実施後、出生した子どもを養育する方に新生児1人当たり5万円を支給

※応援ギフトは口座振り込みになります。支給対象者には1月中旬以降に順次、通知を送付いたします。

☎健康増進課 ☎(25)3505

栃木県 総合防災訓練 栃木市 を実施しました

令和4年12月11日、栃木市総合運動公園において、42種目におよぶ訓練を、県内外93の機関団体から総勢約千人が参加し、実施しました。いずれの訓練も新型コロナウイルス感染症対策に万全を期した上で、日ごろの訓練の成果が発揮され、災害時においても十分な対応が期待できる、頼もしい姿を見ることができました。



- ①要支援者の避難誘導 ②JAFと警察による妨害車両の排除
- ③消防団による水防活動 ④2輪車での地上偵察 ⑤がれき撤去には重機も導入 ⑥自衛隊ヘリによる救助 ⑦自衛隊による倒壊家屋のがれき撤去 ⑧中州からの救助 ⑨救護所の運営 ⑩傷病者の応急救護 ⑪被災者の捜索では災害救助犬も出動 ⑫消防車両による一斉放水 ⑬体育館内で行われた身元確認 ⑭ガス・電力・通信・水道のライフライン復旧訓練も実施